



産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
2024年 6月 6日			
吹田市長 様			
提出者			
住所 大阪府吹田市幸町29番1号			
氏名 山崎製パン株式会社 大阪第一工場 執行役員工場長 横尾 勝文 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)			
電話番号 06-6381-2272			
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、2023年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称	山崎製パン株式会社 大阪第一工場		
事業場の所在地	大阪府吹田市幸町29番1号		
事業の種類	09：食料品製造業（パン、和洋菓子製造販売）		
産業廃棄物処理計画における計画期間	2023年4月1日～2024年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	22352.790 t	全処理委託量	2420.790 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	優良認定処理業者への処理委託量	987.790 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	21050.000 t	再生利用業者への処理委託量	1531.380 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	20174.200 t	認定熱回収業者への処理委託量	15.210 t
自ら埋立処分又は海洋投棄処分を行う産業廃棄物の量	- t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

有償物量

不要物等発生量

別紙3のとおり

排出量
①

項目	実績値
①排出量	
②+⑧自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	
⑪優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用業者への処理委託量	
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

自ら直接再生利用した量
②

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
③

自ら中間処理した量
④

④のうち熱回収を行った量
⑤

自ら中間処理した後の残さ量
⑥

自ら中間処理により減量した量
⑦

自ら中間処理した後再生利用した量
⑧

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
⑨

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
⑩

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
⑪

⑩のうち再生利用業者への処理委託量
⑫

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
⑬

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
⑭

(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

(2023年度実績)

単位:トン/年

産業廃棄物の種類		計 画 の 実 施 状 況													②+⑤ 自ラ再生利 用を行った 量	③+⑤ 自ラ埋立処 分又は海 洋投入処 分を行った 量
		①排出量	②自ラ直接 再生利用し た量	③自ラ直接 埋立処分 又は海洋 投入処分し た量	④自ラ中間 処理した量	⑤ ④のうち 熱回収を 行った量 (自ラ熱回 収を行った 量)	⑥自ラ中間 処理した後 の残さ量	⑦自ラ中間 処理により 減量した量	⑧自ラ中間 処理した後 再生利用し た量	⑨自ラ中間 処理した後 自ラ埋立処 分又は海 洋投入処 分した量	⑩直接及 び自ラ中間 処理した後 の処理委 託量(全処 理委託量)	⑪ ⑩のうち 優良認定 処理業者 への処理 委託量(優 良認定処 理業者へ の処理委 託量)	委 託 先 に よ る 区 分			
コード	名 称															
210	①有機性汚泥	12899.430			12899.430		1,354.670	11,544.760			1354.670	1,184.790	1354.670	0.000	0.000	0.000
400	②廃酸	8.250						0.000			8.250	8.250	8.250	0.000	0.000	0.000
600	③廃プラスチック類	769.052						0.000			769.052	757.172	155.612	120.880	0.000	0.000
1000	④動植物性残渣	655.868						0.000			655.868	470.091	655.868	0.000	0.000	0.000
2522	⑤蛍光灯	0.260						0.000			0.260	0.260	0.260	0.000	0.000	0.000
3100	⑥廃電気機械器具	0.310						0.000			0.310	0.310	0.310	0.000	0.000	0.000
3520	⑦乾電池	0.420						0.000			0.420	0.420	0.000	0.420	0.000	0.000
210	⑧ピット汚泥	38.860						0.000			38.860	0.000	38.860	0.000	0.000	0.000
							</									

※数量に関しては、小数点以下3桁表示として記入してください。

様式第二号の九の第2面に記載された産業廃棄物の発生から処理までのフロー(①～⑭)に示す量を表に入力。